

日韓貿易摩擦-日本による輸出管理強化についての今後の見通し

1. 日本による韓国向け 3 品目にかかる輸出の管理の強化についてはWTOの紛争解決手続きが開始されたところである。
2. またこれにからめた形での韓国による日韓秘密軍事情報保護協定 (GSOMIA) 破棄通告がされその発効が 11 月 23 日にせまっているところである。
3. そのまま決裂、協定の破棄は発効し、WTOの紛争処理はパネルに移行するという可能性が高いがなんとか妥協するシナリオがあるとすればどうなるであろうか？
4. まず 19 日のWTOでの協議で、「輸出管理についての協議を行う」との合意をする。その場合、「包括許可の再開を含め」といった表現をいれるかの駆け引きはありえるが本質的に問題ではない。
5. また日本側は、「輸出許可が貿易阻害にならないように最大限迅速に審査する」と表明する（合意事項ではなく日本側の一方的意思表示とすることが肝要）。
6. 上記を踏まえ、韓国は（これまた一方的に評価するかたちで）「輸出管理の改善に一定の前進があった」として GSOMIA の廃棄を撤回する。
7. これを最終的には 20 日のG20 名古屋外相会議の場での日韓外相会談で合意する。
8. 実現の可能性は、日韓とも対外強硬で人気取りに走っているからかなりきつい。外交と裏で奔走できる人材が枯渇しているのが不幸である。

Author 鈴木恒久 元東京税関調査部長 大蔵省関税局企画課では 5 年わたり関税改正に従事。国際調査課長補佐として 3 年間、外国の関税・税関制度の調査・研究に従事。他に税関研修所教官として 3 年間、税関職員の教育に従事。